

令和4年9月30日
苫小牧港管理組合

同時発表：北海道開発局

苫小牧港は環境価値で世界から選ばれる港を目指します！

～苫小牧港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画の骨子の公表～

苫小牧港管理組合と北海道開発局は、苫小牧港CNP形成計画の骨子を整理し、苫小牧港が目指す5つの将来像を設定しました。また、2050年のカーボンニュートラルに向けて、2030年のCO₂削減目標を、北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）と合わせて48%とします。今後、民間企業に技術提案を求め（別途通知予定）、議論を深めつつ年度内のCNP形成計画の策定を目指します。

1. カーボンニュートラル実現に向けた苫小牧港の目指す5つの将来像

- ①環境価値で世界から選ばれる港湾
- ②道内各地への次世代エネルギーの供給拠点
- ③北日本への次世代エネルギーの供給拠点
- ④わが国の次世代エネルギーの備蓄拠点
- ⑤カーボンリサイクルコンビナートの形成

2. 2030年度の温室効果ガスの削減目標

北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）と同様の2013年度比48%削減を目指す。

3. これまでの検討会開催状況

令和4年1月24日 第1回苫小牧港CNP検討会
令和4年5月20日 第2回苫小牧港CNP検討会
令和4年8月4日 第3回苫小牧港CNP検討会

4. 別添資料

苫小牧港CNP形成計画（骨子）

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 電話 011-709-2137

港湾企画官 古屋 武志、計画第3係長 城市 健吾

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

苫小牧港管理組合 総務部 港湾政策室 電話 0144-84-8317

主幹 伊藤 充、副主幹 有澤 博文、主事 高橋 栄斗

